

ご使用方法

ご使用の前に

- はじめてご使用になる際は、食器用洗剤でよく洗ってからご使用ください。
- 製品にガタつき、破損などはないか、部品が不足していないか確認してからご使用ください。不具合があった場合、使用しないでください。

1 コーヒー粉の粗さを調整する

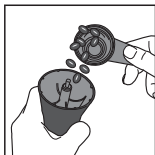
最初にホッパーに少量の豆を入れて挽きながらコーヒー粉の粗さを調整してください。

*コーヒー粉の粗さの調整方法を参照してください。(P2参照)
粉受けにバンドをセットしてからホッパーを時計回りに回してセットしてください。

2 コーヒー豆を本体(ホッパー)に入れる

コーヒー1杯分(120mL)は、約10g~12gが目安です。一度に約30gまでのコーヒー豆を挽くことができます。

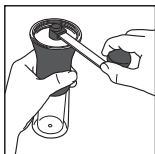
*一度に容量以上のコーヒー豆を挽くと故障の原因となりますのでご注意ください。30g以上のコーヒー豆を挽く時は、2回以上に分けてご使用ください。



3 コーヒー豆を挽く

本体(ホッパー)を手でしっかり押さえ、ハンドルを時計回りにゆっくり回すと豆が挽けます。

*ハンドルを反時計回りに回すと挽き臼を傷めますので絶対にしないでください。コーヒー豆を挽く際は必ずふたをはめてからご使用ください。



ご使用上の注意



注意

- ハンドルは必ず時計回りで回してください。
- 反時計回りで回さないでください。空回しをしないでください。(臼を傷め破損の原因となりますので、絶対にしないでください。)
- お子様に使用させないでください。また、乳幼児のそばで使用したり、乳幼児の手の届く場所には置かないでください。いたずらにも注意してください。
- お手入れの際は油をささないでください。

●破損の原因となりますので、コーヒー豆を挽く以外にはご使用にならないでください。

●粗さ調整つまみを時計回りに回しすぎると、臼同士が接触して臼を傷める原因となりますのでご注意ください。

●回転が重い状態で無理にコーヒー豆を挽くと部品を傷めるのでご注意ください。

●ホッパー内部のコーヒー豆がスムーズに落ちずにハンドルが空回りすることがありますので、使用中に本体を軽くたたきホッパー部内側のコーヒー豆を落としながら挽いてください。

●危険ですのでハンドルを回す際は臼の隙間に指などを入れないでください。

●ストーブやコンロなどの火気のそばに近づけないでください。

●高温になる場所に放置しないでください。溶けたり、変形する原因になります。倒したり、落としたり、ぶつかけたり、製品に強い衝撃を与えないでください。

●臼に硬いものをぶつかけたり、本体を落としたりすると臼が欠けたり割れたりする原因となりますのでご注意ください。

●本来の用途以外では使用しないでください。

●改造・修理したりしないでください。事故や故障の原因になります。

●洗った後は水分をふき取り、十分に乾かしてください。サビの原因になります。

●部品が多いので紛失にご注意ください。またお子様にも十分ご注意ください。

お手入れ方法



注意

- 分解して水洗いをすることができます。
- 分解する際は、部品をなくさない様に十分ご注意ください。
- 食器洗い乾燥機や家庭用漂白剤は使用しないでください。
- アルコールを使わないでください。
- 煮沸をしないでください。
- お手入れの際に油などをささないでください。

製品仕様

材料の種類	
ハンドルつまみ	A B S 樹脂
ハンドルアーム	ステンレス鋼
シャフトカバー	ポリプロピレン
シャフト	ステンレス鋼
ふた	メタクリル樹脂
ブッシュ	ポリアセタール
ホッパー	ポリプロピレン
外臼 / 内臼	セラミック
外臼押さえ	ポリプロピレン
内臼押さえ	A B S 樹脂
ばね/ワッシャー	ステンレス鋼
粗さ調整つまみ	A B S 樹脂
バンド	シリコーンゴム
粉受け	メタクリル樹脂

品名	セラミックコーヒーミル
品番	ACG-BKP

*ハンドルを反時計回りには絶対に回さないでください。臼が破損する原因となります。

*コーヒー豆を挽く際は必ずふたをはめてご使用ください。豆が飛び出すおそれがあります。

MADE IN CHINA

※部品がなくなる様ご注意ください。

●部品は消耗品です。1年を目安に傷、損傷などが無いかを確認し不具合がある場合は使用をやめ、部品交換してください。

交換部品のご購入はこちらから
アトラスオンラインショップ
<https://www.atlasonline.jp>



表示者 株式会社アトラス
〒192-0046
東京都八王子市明神町4-7-15 落合ビル2F
<https://www.atlas-scm.jp/>

お問い合わせ

TEL.042-660-8870
受付時間/9:00~18:00
月~金曜日(祝日・弊社休業日を除く)

品質には万全を期しておりますが、万一不具合があった場合はご使用にならないで、お買い求めの販売店までご連絡ください。

カフェリンク

Café Link

CERAMIC
COFFEE MILL

セラミックコーヒーミル

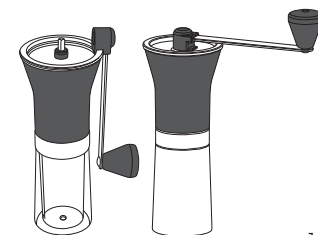
取扱説明書

このたびは、当社のセラミックコーヒーミルをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。ご使用になる前に、この取扱説明書を最後まで必ずお読みいただき、正しく安全にご使用いただきますようお願いいたします。また、本書は、万一ご使用中にわからなくなったときにお役に立ちますので、いつでもみられる所に大切に保管してください。

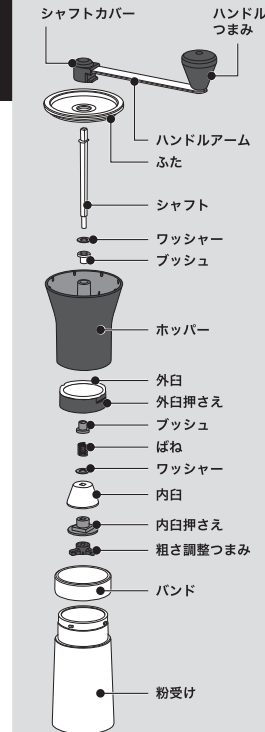
ご使用の前に

- はじめてご使用になる前に本体のキズ・凹み・部品のひび割れなどの不具合がないことをご確認ください。
- 製品にガタつき、破損などがないか、部品が不足していないか確認してからご使用ください。
- はじめてご使用になるときは、食器用洗剤でよく洗ってからご使用ください。

※説明中のイラストは実際のものとは異なる場合があります。また品質向上・改良のため、予告なく仕様・デザインなどを変更することがありますのでご了承ください。



●各部のなまえ



コーヒー粉の粗さの調整方法

コーヒー粉の粗さを調整し好みのコーヒーに仕上げられます。

1 ハンドルを付ける

粉受けをはずし、ホッパー上部にハンドルを付けます。

2 粗さ調整つまみを締める

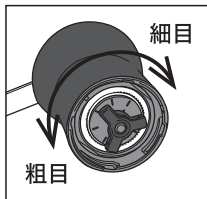
ハンドル中心部分をしっかり押さえ、底面の粗さ調整つまみを時計回りに締めます。回す力が重くなったところで止めます。締め込みすぎると臼を傷めますのでご注意ください。

*この時、等間隔にカチッカチツとクリック音があることを確認してください。
無い場合、粗さ調整つまみの向きを確認してください。(P4参照)

3 粗さを調整する

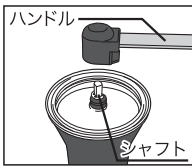
2で締めたその位置をゼロとして反時計回りに12~14クリック回したところが標準の粗さ(中細挽き)です。

粗さ調整つまみを時計回りに回すと粉が細くなり、反時計回りに回すと粗くなりますので好みで調整してください。

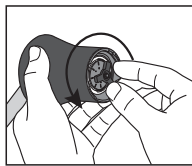


目安	クリック数
粗挽き	17~22
中挽き	15~16
中細挽き	12~14
細挽き	0~11

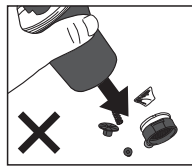
分解方法



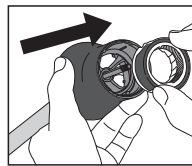
①ハンドルをシャフト部分に固定してください。



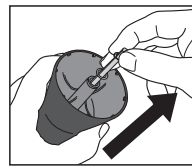
②ハンドルを押さえ、ホッパー部を横に倒し粗さ調整つまみを反時計回りに回してはってください。



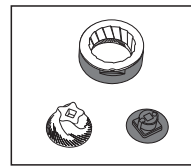
ホッパー部を立てたまま粗さ調整つまみをはずすと臼が脱落して破損の原因になります。



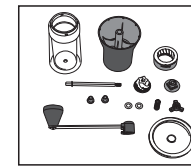
③粗さ調整つまみを取りはずし、内臼・外臼・ワッシャー・ばね・プッシュ(下)を取りはずします。



④ハンドルを取りはずして上からシャフト、ワッシャー、プッシュ(上)を引き抜きます。

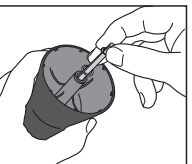


⑤臼にはコーヒーの油分が付着していますので、薄めた中性洗剤に浸け置きし十分にすすぎ洗いをしてください。

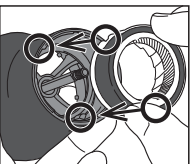


⑥洗浄後、完全に乾燥させてからご使用ください。

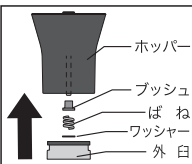
組み立て方法



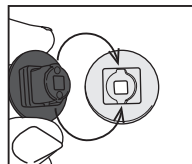
①ホッパー部に上からプッシュ(上)、ワッシャーを装着して、シャフトをセットください。



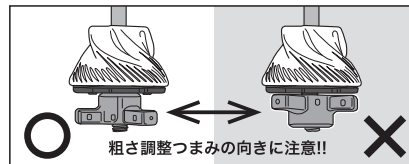
②ホッパーの下から外臼を組み込みます。
※各 부품の向きにご注意ください。



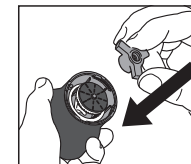
③次にプッシュ(下)、ばね、ワッシャーの順に、シャフトに通します。



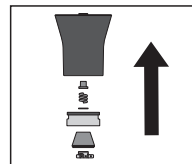
④内臼が乾燥していることを確認し、内臼押さえに内臼をセットします。
※凹凸に合わせてセットしてください。



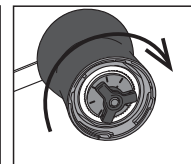
※粗さ調整つまみの向きを確認してください。部品を傷めたり、破損する可能性があります。



⑤ホッパーの下から④で組んだ内臼をセットし、粗さ調整つまみを時計回りに締めて装着完了です。



⑥きちんと上記の順序で組み込まれているか、確認してください。



⑦粗さ調整つまみは回転の重みが増えるところまで回してください。
※締め込みすぎると臼を傷めますのでご注意ください。